

発行所

葛飾区歯科医師連盟

東京都葛飾区青戸7-1-20

電話 03(3602) 0648・(3603) 2691

編集発行人 福田徳治

印刷所 一世印刷株式会社

主な内容

会長挨拶	1面
葛飾区歯科医師連盟へのご挨拶	1面
地の塩	1面
石井みどり 東京都後援会 葛飾総決起大会	2~3面
会員の声	4面
事業報告	4面
コーヒブレイク	4面



葛 歯 連 盟 広 報

次期参議院議員

選挙について

石井みどり氏の必勝を

葛飾区歯科医師連盟会長 福田徳治



平成18年4月に診療報酬が改定されて6ヶ月が経過、治療内容の説明文書の添付のわずらはしさに加え、10月からは窓口領収書に項目別に料金をはつきりさせる内容説明の発行が義務化されるに及び、会員の不満は頂点に達した感がある。

戦後最長の景気の良さで、一流企業の年末賞与は平均80万から100万円に達し、若年労働者の不足で、給料はじりじり上昇してきている。

それと逆に低下傾向にある医療従業者はこの現象をどう見ているのか、病院の経営は7割位は赤字経営になっているという、特に公立病院の経営は厳しく、病院の中で売店の充実等の経営努力をして

いる所が増えてきている。歯科大学でも一般診療にたいして、さらなる料金の値上げにうごいているという。日本の財政赤字もいよいよ厳しく、地方と合計すると770兆円を越えてきて、先進国の中で

はとび抜けて一番多い、若し関東大地震でも発生すれば大巾な円安になり、急激なインフレになる。

この時一番打撃を受けるのは統制下にある医療界である。赤字財政に悩む安倍内閣も消費税の大巾な値上げを覚悟する必要にせまられている。

ここで医療費のみ上げるわけにいかない。現在一番医療費のかかる75才以上の老人医療費に対しては定額制を設定し、一人当りいくらにするか真剣に検討されている。

歯科に対しても根管治療一本につき診療費いくらの定額制にされる時代が目前にきているような気がする。しかも、歯科医の場合は生存競争が厳しいので、最良の治療を行なわないと、患者の評判を落し、倒産の憂き目に合う、私の年頃(65才~70才)では、今年四月以後になって急に歯科医をやめたい方が目立ってきている。

一般社会では退職する年代だからやむをえないと思うが、退職金も出ない、日歯の年金も低下の一途で、国民年金も低額であてにならない現状、まことにきびしい老後がある。

ただ小規模企業退職金制度

に加入している方はせめても救いがある。

これは私が葛歯共済会の理事をしているときに発案し始めて加入した制度で現在まで加入している方は退職金とすれば充分な額になり助かったという声もきく、昨年、葛歯では2回の石井みどりの総決起大会を開催し、会員の皆様のお陰で盛大に挙行することが出来たことに心より感謝いたします。

18年11月30日には都歯会館において第21回参院比例代表選挙候補、石井みどり総決起大会が開催され大盛況であった。

石井みどり候補は熱弁をふるい、現在の歯科の苦境を打開するには、現実に開業医として苦労している石井みどり候補が次期参議院選に当選し、政策を作る段階から、厚労省と話し合い、歯科界の意向を充分に取り入れていきたくと主張していた、まさにその通りであり、どうしても19年7月の参院選挙では、葛飾区歯科医師会としては会員一人あたり8票を最低目標として総計1500票以上出したいと強く希望しています。

お願ひ致します。

葛飾区歯科医師連盟へのご挨拶

内閣府副大臣 衆議院議員 平沢勝栄



休日応急診療、心身障害児・者歯科診療(ひまわり)、寝たきり老人歯科診療(たんぼぼ)など、日頃から葛飾区の地域歯科医療に献身されている皆様に心から敬意を表します。

誰もが住みたくなくなるような活気ある葛飾、住みやすい葛飾づくりを進めようとして、皆様方「葛飾区歯科医師連盟」の果たされている役割はきわめて大きなものがあります。

「歯が20本以上の高齢者は何でも食べて健康」と言われるように、口腔ケアは、長寿社会の大きな課題である介護予防の決め手のひとつでもあります。皆様方の日頃のご活動が、口腔ケアというこの大切な介護予防分野を通じて住民の健康増進に今後とも大きな成果をあげられることを祈念しております。

ところで、昨年9月には5年半にわたって日本の構造改革に取り組んできた小泉純一郎内閣が退陣し、改革継続をうたう安倍晋三内閣が登場しました。パウル経済崩壊によって「失われた10年間」と言われたように停滞をきわめた日本経済を、大胆な構造改革によって、ふたたび安定した成長軌道に乗せ、財政再建に道筋をつけたことは、小泉内閣の大きな業績といえます。

また、問題は未解決とはいえず、問題は未解決とはいえず、問題は未解決...

ど地域経済の不振、地盤沈下は目に余るものがあります。

この葛飾を「水と緑の豊かな町づくり」や「若者がすみなくなるような町づくり」から、さらに「誰もが住み続けたいような町づくり」にしたいことも重要な課題です。外交面では、日米防衛協力の再確認を通じて北朝鮮の核ミサイル脅威から日本を守り、また中国、韓国などとの関係改善を通じて、北朝鮮の核などをめぐる「6カ国協議」を成功させ、北朝鮮に拉致問題の解決、核ミサイル脅威の解消を迫るのが、安倍内閣の基本姿勢です。

本年7月に予定されている参議院選挙は、安倍内閣ができて初の国政選挙です。神奈川県、大阪の衆議院補選、沖縄知事選などを乗り切ってきた安倍内閣にとっても、この参議院選挙は容易ならざる国政選挙です。過半数維持には与党(自民・公明)で65議席以上が必要であり、自民党は最低でも52議席以上を獲得しなければなりません。

小泉首相、安倍幹事長の二枚看板で臨んだ前回2004年の参院選の獲得議席は49議席でしたので、この52議席以上は目標はかなり高いハードルです。誕生したばかりの安倍内閣が安定軌道にのり、小泉改革の続行や日本の国家的

建て直しをはかるために、この参院選における自民党必勝に皆様のご支援をぜひお願い致します。そうした中で歯科医師連盟の皆様方は石井みどり候補を推薦されていますので、私達も全力で応援させて頂きたいと思っております。

なお私は、内閣府副大臣として、イノベーションも担当しております。少子化、高齢化のひずみを科学技術の発展によって乗り切るのがイノベーションの課題です。イノベーションを進めることによって地域経済の不振や地盤沈下を食い止め、小売、介護、予防医療など非製造業、サービス産業などを安定的に発展させていきたいと考えております。

同時に拉致問題の解決、憲法改正による戦後レジームからの脱却など従来取り組んできた政治課題とともに、この新しい問題にも全力で取り組んでいく所存です。

最後に、口腔ケアは介護予防の決め手といわれるように、歯科医療は長寿社会において、健康増進、生活の質の向上、予防医療の拡充、国民医療費の節約などに大きな役割を担っております。こうしたなかで、歯科医療従事者の生涯教育、需給問題、診療報酬の医科、歯科の格差など山積する諸問題解決に向けて、「葛飾区歯科医師連盟」は活発な活動を続けておられます。

私もまた皆様の諸課題解決に必要な関係法令の整備、改正や医療行政の適切な改革に全力でお手伝いさせていただきます。今後とも皆様のく決意です。今後とも皆様の変わらぬご理解、ご支援をお願いして私の皆様へのご挨拶に代えさせていただきます。

敗戦以来、国民は日の丸を背負って一丸となる心を失ってしまったのか、忘れようとしているのか、戦意高揚と侵略を押し進めた過去のいたましい体験は国民がひとつになることを躊躇させる。日の丸や国歌に敏感に反応し、全体より個人を尊重する傾向が強まった。ところが、誰よりも個人を優先するかに思えた大リーグのイチローが日の丸に燃えた。あのワールドベイスボールクラシックに於て、もう後がない、瀬戸際の日本チームをぐんぐん引っぱって優勝へと大きく貢献した。イチローの歯に衣着せぬ発言は韓国チームを激怒させるほど、マスコミを賑わせた。

イチローは、日の丸を背負った日本の野球を強く意識したのである。日本選手の闘争心を奮い立たせた。後日、王監督も日の丸が背中を押して、力になってくれたとも話す。国旗が戦意高揚に欠かせないものだったことはまちがいない。

全体主義には不可欠のようである。この力がかつての日中韓の不幸を招いたことも忘れてはならないが、国とは、国家とはなんだろう。国家意識の薄い若者達も野球やサッカーチームが韓国や中国に負けると口惜しく、オリンピックで日の丸が揚がればことのほかよろこぶ。ましてや戦争となれば国の為、妻子の為に銃を持って再び奮い立つことだろう。国を意識しての不思議な感情ではある。

新総理の美しい国もさることながら、私は、藤沢周平の小説「蟬しぐれ」に登場する、つつましく折り目正しい日本人像にあこがれている。

新総理の美しい国もさることながら、私は、藤沢周平の小説「蟬しぐれ」に登場する、つつましく折り目正しい日本人像にあこがれている。

地の塩

敗戦以来、国民は日の丸を背負って一丸となる心を失ってしまったのか、忘れようとしているのか、戦意高揚と侵略を押し進めた過去のいたましい体験は国民がひとつになることを躊躇させる。日の丸や国歌に敏感に反応し、全体より個人を尊重する傾向が強まった。ところが、誰よりも個人を優先するかに思えた大リーグのイチローが日の丸に燃えた。あのワールドベイスボールクラシックに於て、もう後がない、瀬戸際の日本チームをぐんぐん引っぱって優勝へと大きく貢献した。イチローの歯に衣着せぬ発言は韓国チームを激怒させるほど、マスコミを賑わせた。

イチローは、日の丸を背負った日本の野球を強く意識したのである。日本選手の闘争心を奮い立たせた。後日、王監督も日の丸が背中を押して、力になってくれたとも話す。国旗が戦意高揚に欠かせないものだったことはまちがいない。

全体主義には不可欠のようである。この力がかつての日中韓の不幸を招いたことも忘れてはならないが、国とは、国家とはなんだろう。国家意識の薄い若者達も野球やサッカーチームが韓国や中国に負けると口惜しく、オリンピックで日の丸が揚がればことのほかよろこぶ。ましてや戦争となれば国の為、妻子の為に銃を持って再び奮い立つことだろう。国を意識しての不思議な感情ではある。

新総理の美しい国もさることながら、私は、藤沢周平の小説「蟬しぐれ」に登場する、つつましく折り目正しい日本人像にあこがれている。

新総理の美しい国もさることながら、私は、藤沢周平の小説「蟬しぐれ」に登場する、つつましく折り目正しい日本人像にあこがれている。

新総理の美しい国もさることながら、私は、藤沢周平の小説「蟬しぐれ」に登場する、つつましく折り目正しい日本人像にあこがれている。

葛 齒 連 盟 決 起 大 会

平成十八年九月二十七日(水)午後七時半より葛飾区歯科医師会館において、「石井みどり東京都後援会葛飾総決起大会」が葛飾区歯科医師連盟主催により開催された。当区への石井みどり氏の来訪は、平成十八年五月二十二日(月)に開催された「石井みどり先生を囲む会」以来、二度目となった。当日は、会館二階会議室から、はみ出さんばかりの会員で埋め尽くされ、期待と熱気にあふれていた。

来賓として、日本歯科医師連盟より蒲生洵副会長、東京都歯科医師連盟より大曾根正史会長(日本歯科医師連盟副会長)、蒲池元春専務理事、大谷修作常任理事、勝俣文良理事、葛飾区技工士会より斎藤俊哉会長、中島篤実監事、そして日本歯科用品商協同組合連合会の谷山勝美会長が出席され、鶴見大学歯学部同窓会からは宮奈基次副会長を始め、同窓会東京都支部連合会の五名の先生方が同道された。衆議院議員の平沢勝栄氏も出席される予定であったが、安倍新政権の内閣府副大臣に任命され、当日、皇居における認証式出席のため、来館されなかった。

を知り、今後の医科・歯科の連携がますます期待される。石井先生には厚生労働省におけるご研究から、その橋渡し役になって、咀嚼を通して国民の健康に寄与する歯科界の役割を確立してもらいたい。」と挨拶をした後、葛飾区歯科医師会の根岸哲夫会長と同学校歯科医会の武井秀光会長の挨拶が続く。「これまでの候補者と違い、臨床の現場を知っている先生であり、一般の小児歯科医から、日本歯科医師会常務理事への実績、そして厚生労働省と係わりを持つ先生は他にはおりません。」と我々の立場に立って、臨床現場からの声を国政に伝えて欲しいと、熱い思いを伝えた。

数百十名を超す会員の先生方が参加される中、本連盟の小嶋一彰専務理事の司会進行のもと、川島一伸副会長の辞で開会した。続いて、本連盟の福田徳治会長が登壇し、「入院患者の経口栄養による回復率の増加や、生活習慣病の予防の観点から、咀嚼の重要性

を感じておられる。現場の声を確実に国政に伝える人材として、最も適しているからである。」と石井氏の紹介を踏まえながら、「職域代表として重要な役割は、個人で活動するばかりではなく、さらに歯科界の問題を理解してくれる国会議員を増やす事であり、石井先生はそういったネットワークを広める役割にも長けている。その行動力、生まれ持った明るさと、男をも負かす気迫は、職域代表として有用な人材である。」と石井氏の人柄にも触れるコメントは、会場を大いに湧かせた。

続いて、大曾根正史東京都歯科医師連盟会長(日本歯科医師連盟副会長)は挨拶の中で、「大都市東京が頑張れば、良い結果が出る事は必然である。過去の選挙における推薦候補への投票数は93万票余りもあり、歯科界が団結すれば、今後でもできない事ではない。今回、推薦から落ちた候補者も、今は石井先生の応援にまわっている。投票数の数とその議員の国会での力と

なりうるので、より多くの投票数をもって、石井先生を送り出して欲しい。」と我々のさらなる団結を煽った。さらに大曾根会長は、葛飾区が選挙に強い地であるとして、「この地区が後援活動の発進基地として頑張って欲しい。」と述べて降壇した。

次に、中島篤実葛飾区技工士会監事が登壇し、「技工士会からも、候補予定者がいるが、葛飾区においてはデンタルファミリーとして、常に歯科医師会と歩調を合わせてき

た。今回も歩調を変える事なく、三位一体の一員として石井先生のために協力していきたい。」と述べた。

続いて、谷山勝美日本歯科用品商協同組合連合会会長の挨拶に移り、「我々の業界は、歯科医師会の先生方と技工士会の両方に、スタンスを向けなければならぬ立場であります。先般の理事会で、石井みどり先生を一本支援していくことを決定いたしました。」と強い協力をお約束しました。「長寿社会を世界一の日本にあつて、高齢

者が健康な日常生活をすごせるためにも、公衆衛生の維持・向上は、国民生活に必要な不可欠であります。開業歯科医として、現場の実情や地域の保健活動等に豊富な経験を持った石井みどり先生が、国政の場で活躍できることは、私ども業界人にとって大変大きな喜びであります。良質な歯科医療を確保して、国民に信頼される歯科医療の改正・確立のために、次期参議院選挙において、歯科界は一致団結して石井みどり先生の当選を目指し、総力を挙げて頑張る事を誓います。」と激励の言葉を頂戴した。

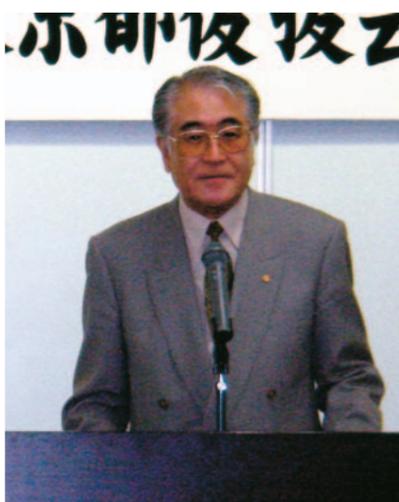
来賓挨拶の最後に、石井氏の同窓を代表して、宮奈基次鶴見大学歯学部同窓会副会長が登壇し、「議員として大切な事は、真面目さと説得力ではないかと考えておりますが、石井先生はどちらも兼ね備えており、候補として足るべき人物であることを同窓として誇りに思います。同窓会としては、全面的にバックアップしていきますが、先方のご協力もよろしくお願いいたします。」と深々と頭を下げられる姿は、参加者全員の心に焼き付いて離れなかった。



福田連盟会長



武井葛学歯会長



大曾根正史都歯連盟会長



蒲生洵日歯連盟副会長



根岸葛歯会長



谷山勝美氏



中島篤実氏

来賓者全員の紹介が小嶋専務より行われた後、いよいよ石井氏が登壇し、出席者への謝辞を述べた後、立候補に至る経緯、今の現状と今後の展望、具体的な政策案について熱弁を振るった。

石井みどり 東京都後援会

医療制度改革の影響は国民に…

全国どこを廻っておりましても、沢山の先生方から、熱い応援をいただいております。一開業医の私を暖かく応援をいただけるのは、先生方と同じ開業医として、先生方の痛み、苦しみを存じ上げている仲間だからだと思います。

診療報酬のマイナス改定

私の政策課題は…

公的医療保険が狭められ、民間保険がはびこる危険性もあり、医療制度改革においても、その内容を熟知し、対応しなければなりません。様々な政策課題がありますが、診療報酬の改定、医療制度の改



で、一番不利益をこうむるのは国民であり、良質な国民医療を目指す我々には、医療費削減は受け入れがたいものがあります。国民の歯科医療充実を図るためには、全国で活躍できる歯科医師の後押しを行わなければならないのです。

立候補への決意

日本歯科医師会の常務理事として、厚生労働省の審議会に参画し、必死になって発言をしてきましたが、自分たちの主張を反映させる事が、どんなに困難であるかを体験いたしました。官僚が既に完成済みであるかのように提出してくる政策案に対し、我々の



宮奈基次氏

与党に入ることの意義

世界一の長寿国で、さらに公的保険で国民の健康が守られている国は、世界では皆無であります。しかし、これを支えている我々の声は、厚生

職域代表としてネットワークを作るこそ私の使命

職域代表がひとり声を大にして効果は疑問です。職域代表の仕事として、国政の場で歯科界に理解のある議員の方々を動かして、我々の要望を実現する責任があると思います。その目標達成のために、私は全力をつくしたい。職域代表を中心としたネットワークを作り、政治を変え、



明るい光を歯科界に取り戻したいのです。

介護（保険）報酬の見直しの時に…

介護保険の介護給付本体に、「口腔機能向上」という項目が織り込まれるように、始めから切り込んでおかないと、結局、医療保険のバイを小さくする方向になってしまいます。お財布を二つ持っています。

戦略的な政策実現

「歯科界の未来のために」

今まで、様々な政策から後手にまわっていた感のある歯科界ですが、歯科界のあらゆる英知を集結して、研究機関等と連携を取りながら、歯科保健医療政策に結びつけていきたいと思っています。臨床現場からの思いを国政に伝え、歯科界の未来のために、国民に新たな社会保障のあり方を提言すると共に、歯科医療の果たす大きな役割のための施策を、国政の場で実現し



柳澤信道氏

と石井氏は、決意を新たに熱き思いを訴えると、会場は一気に最高潮に達し、割れんばかりの拍手の中に送られていった。

その後、柳澤信道前都歯連盟会長の応援演説で「選挙まで十ヶ月余りと長いですが、気持ちの薄れる事なく、一人ひとりがいっしょに心構えを持って、惜しみない力を注いで欲しい」と後援活動に対し、改めて兜の緒を締めるよう出席者の意を煽った。本連盟の加藤静悟副会長の閉会の辞の後、石井氏自ら会場出口で出席者全員と握手を交わし、大会は盛会裡の内に終了した。



「会員の声」

高砂支部 門橋幸彦

今の歯科界の現状は、ここ数年における診療報酬のマイナスイノベーション、歯科医学的根拠・臨床現場における実態を無視した、いわゆる「紙出し」の煩雑さなど、かなりの首しめや、改善が行われたことは、言うまでもなく現実である。さらに政府の骨太方針により、今後も医療費を含めた社会保障費が、圧縮されていくという大変、厳しい現実が置かれている。暗黒の世の入口なのか、途中なのか、闇から逃げ出せない感がある。これは、いかん！前向きにならねば……。

私は、現在支部選出連盟理事と公衆衛生委員を仰せ付かっています。おもしろい話ではありませんが、歯科成人健診や歯ミガキ教室、たんぼぼ・ひまわり事業などは、会と行政との折衝なくしては、成り立たないものであります。委員を経験する前には、全くと言っていいほど、気にも止めずにいた事でありました。やはり「何事にも基本に忠実に」戻ることが大切であります。私たち歯科は、厚労省には届かない。是非、届けたい！歯科医療を取り巻く環境の悪化の打開には、政界あるいは、行政に歯科界の力を示すことが大切であり、そのためには職域代表の国会議員（石井みどり候補）を選出することが、第一歩に繋がるのではないかと、会員・非会員を飛び越え、一人の歯科医師として、私たちのエゴではなく、日本の歯科医療向上のため、患者さんの医療充実のため、歯科界の団結力を示し、歯科臨床開業医の職域代表を国政に送り、現場の声を要望、陳情して届かせるしかありません。一連の不祥事を乗り越え、その力が試されている大切な時期（選挙）です。闇から脱出する唯一の方法ではないでしょうか？歯科界の崩壊・不沈に關わる重大事であるわけですから、もう一度、歯科界全体が一丸となって同じ目標に向かって進むことが、明るい夢のある未来が来ると信じて、今年（亥年は、政治的に激動の年になることが多いそうですが……）の7月の参院選挙に向けて、各先生方の力強いご支援ご協力を、お願いする次第であります。何卒よろしくお願い申し上げます。

「若き開業医の一言」

金町支部 泉 伸吾

時間が過ぎるのは早いもので自院を開設してから14年が過ぎました。現在では金町支部選出の連盟理事をさせて頂いています。連盟に属して約2年になりますがその間、都議会選挙、葛飾区長区議選

酬保険制度の改正では開院以来最大の範囲で改正が行なわれたように思います。たしかに医療に従事する我々の需要が年々増加しているのですから決められた医療費予算の範囲内で社会保障を行なうには単価を下げなくてはならないという事は誰が考えても理解できると思います。ですが、単価が下がれば当然下がった分のしわ寄せがどこかに形となつていくと思えます。例えば人件費の削減、薬剤や材料費等の節約、他にもあります。このような事態が今後改善されることなく続くようであれば、質の良い治療を患者さんに提供する事はもちろんのこと医師患者の両サイドに余裕がなくなり医療が医療ではなくなってしまうように思います。多くの先生方が思っているように、私も一人の歯科医師として患者さん達に納得のいくような歯科医療で今後も行っていききたいと思っております。未だ未熟ではありますが、この思いは変わらぬと思えます。現在の日本の歯科医療は大変窮屈な立場になっていくと思えます。本来患者さんの為にある社会保障が違つていく方向に向かっているようにも思えます。できればこういふ状況が少しでも早い時期に改善されていくだろう事を願っています。

「都連石井みどり総決起大会の熱い風」

金町支部 深瀬道法

昨年十一月、アメリカに住む親類が一時帰国、わが家に滞在した時、八才になる姪が矯正治療を受けており、昨春、矯正医に下顎前歯の乳歯二本を抜歯するよう指示され、指定された口腔外科医を受診したところ、七百ドルをチャージされたという話を聞きました。

話の内容と子供の口腔内の状況から永久歯の萌出に伴う抜歯のよう、日本であれば、保険治療として処置した場合、患者負担は三割とすれば千六百円程でしょうか。そんな話を聞くと、現在の日本の医療制度が国民にとって大切なものであり、医療関係者はその機軸の上に生活しているわけで、何としても守っていかねばいけないと感じておりました。

昨年十一月三十日、「石井みどり都連後援会総決起大会」が新歯科医師会館で開催され、本連盟支部からは福田会長をはじめ八名が参加しました。

午後六時からの大会は定刻には各支部からの参加者で会場は満員、立ち見が出る程でした。蒲池専務理事、大谷常任理事の司会で始まった大会は、大曾根都連会長の挨拶のあと、永山日歯連会長、田中都歯会長ら歯科界を代表する来賓の挨拶と続きます。いづれの方々も歯科医と国民を取り巻く医療環境が危惧すべき状況にあり、これを打破し医療制度を死守するには職域代表を国政の場に送ることが肝要であり、石井みどり氏は開業医として医療の現場を知り尽くしている方であり、代表として最適な人材であるという主旨であったように思えます。

その後、概文、がんばろう

事業報告

平成17年	平成18年
5月23日 鈴木一光選挙対策会議	1月4日 新春賀詞交換会
26日 都連盟支部長会議	2月2日 東京都歯科医師連盟躍進の集い
30日 榊山たかし必勝総決起大会	3月5日 倉沢よう次新年会
6月1日 鈴木一光総決起大会	3月21日 江東7地区代表者専務会
8日 自民党葛飾支部大会	3月25日 青木勇区政報告会
13日 テクノプラザ	3月27日 会田浩貞懇親会
17日 青木区長表敬訪問	4月12日 第90回東京都歯科医師連盟評議員会
23日 葛飾区歯科医師会移動理事會	4月21日 齊藤初夫「桜花の集い」
7月3日 東京都議会議員選挙	4月22日 榊山たかし「藍綬褒章受賞を祝う会」
30日 平沢勝栄事務所開き	4月22日 牛山正若葉の集い
9月1日 平沢勝栄総決起大会	4月24日 平沢勝栄国政報告会
11日 衆議院議員選挙	4月27日 野上じゅん子懇親会
25日 倉沢よう次総決起大会	5月9日 江東七地区代表者専務会
10月11日 青木勇総決起大会	6月15日 江東七地区連合会総会
14日 布施秀明総決起大会	6月16日 葛飾区歯科医師会移動理事會
15日 会田浩貞懇親会	7月7日 よい歯の集い
16日 牛尾総決起大会	7月24日 会報発行
17日 大森義明総決起大会	8月25日 平成18年度日本歯科医師連盟褒賞受賞連絡 新小岩支部
23日 谷野せいしろう総決起大会	9月4日 安斎平治先生葛飾区公明党議員と折衝
6日 青木勇出陣式	9月4日 日歯連盟評議員会
11月13日 区長区議会議員選挙	9月22日 都連盟評議員会
12月10日 葛飾区学校歯科医	9月26日 都連盟評議員会
16日 会議員表彰	11月30日 石井みどり総決起大会
21日 葛飾区歯科医師会	
	11月30日 石井みどり総決起大会

コーヒープレイク

現在、日本のセンチナリアン（百歳長寿者）は2万数千人になったとの報告があり、近代医学の進歩、国民皆保険制度の導入と発展、国民生活の向上により平均寿命でも世界の中で最長寿命となつてきた。

また、最近のサイエンスでは線虫やマウスにおいて20〜30%のカロリー制限を行うと寿命が1.5倍から2倍に延長するというデータがあり、インスリンシグナルが抑制され、細胞内代謝モードが省エネモードになることで長寿形質がもたらされている可能性が示唆されている。アカゲザルでも同様に証明されており、カロリー制限で癌も抑制されたとの報告がある。人ではまだ証明されてはいないが、おそらく同じメカニズムだと言われている。

人における疫学的調査においても百歳長寿者は低インスリン血症で生活習慣病になりにくい、心臓病や脳卒中になりにくいことがわかっている。

一方、臨床面においては日本の糖尿病患者は700万人と推測され、予備軍の700万人を加えると、1400万人もの患者が予測されている。メタボリックシンドロームはII型糖尿病の上流にある内臓脂肪蓄積必須の症候群であり有病者は予備軍を含め2000万人いる。

2025年問題を抱える我が国においてQOLを向上し、生産性の高い高齢者を作ることはまさに国家戦略であり、医科との格差をなくすために、歯科が生活習慣病の是正に介入するチャンスだと考える。

治療をする医師から健康管理医へのシフトをする時期へきているのだろうか。2006年の厚生労働省が掲げたスローガンに、一に運動、二に食事、三つかり禁煙、最後に薬。とあるが、予防医学を薦めることが利益になるようなシステムを確立してもらえよう切望するところである。

関 裕信

科医師会館	平成19年
12月9日 葛飾区学校歯科医	1月4日 新春賀詞交換会
13日 会議員表彰	8日 先輩に感謝する会
15日 葛飾区学校歯科医	31日 榊山たかし新春の集い
葛飾区歯科医師会	2月1日 東京都歯科医師連盟躍進の集い
移動理事會	11日 倉沢よう次新年会